

# 吹田の河川、源流を探る

## 調査依頼

**探偵さん、私は普段、阪急豊津駅から川を見ながら通動しています。**  
 今年の夏は「ゲリラ豪雨」と呼ばれるほどの激しい雨で、多くの方が無くなりました。普段何気なく見ている川が氾濫するのですね。ところであの川の源流はどこなのでしょう？調べてください。

源流はどこか？という依頼になる。

阪急豊津駅から見下ろせる川といえば、「糸田川」のことだ。正確にはその少し下流、豊津の交番付近で川は2本に分かれ、東に「糸田川」、西に「上の川」(かみのかわ)となる(写真①)。

## 上の川

つまり今回は「上の川」の



②上の川はここで暗渠にもぐってしまう



③上の川はこの大平池から始まっている



④上の川の源流は、佐井寺4丁目。以前、千里山生協があったあたり



⑤吹田市と豊中市を分ける高川は天井川になっている



⑥堤防にはきれいな松並木が



①豊津駅で、糸田川と上の川に分かれる



ながっている。つまり「上の川」は佐井寺4丁目付近に降った雨を最上流として流れている。佐井寺と千里ニュータウン、佐竹台の境界が尾根のようになっていて、このあたりが「分水嶺」のようだ(写真④)。

高川はどうか？新御堂筋を吹田側から横断し、豊中市との境界が天井川となっている(写真⑤)。あれが高川である。川をさかのぼる。川岸には松が植えられてお

## 高川

り、服部緑地や江坂地域にわずかに残された田んぼなどが眺めることができ、ちよつと得した気分(写真⑥)。地図で見ると、江坂を越えると高川は新御堂筋の西側、吹田市春日町を流れる。そして新御堂筋をやはり暗渠で横断し、千里ニュータ

ウンの桃山台へと続く。さらにさかのぼれば、吹田市南千里庁舎の前で暗渠になり(写真⑨)、牛ヶ首池へ。この池は、よついで祭り会場となる千里南公園の中にある。千里南公園の所在地は津雲台で、津雲台小学校



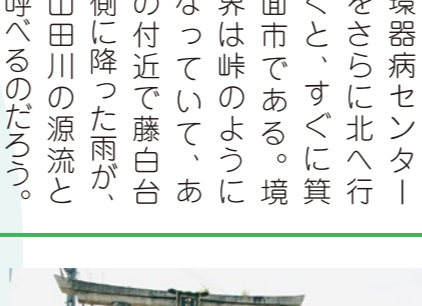
⑦春日町が農業で栄えていたことを証明する出荷場



⑧高川はこの付近で桃山台水路と名前を変える



⑨高川は南千里駅付近で暗渠になる



⑩山田川は伊射奈岐神社の下を走る



⑪山田川の源流 蓮間池

付近が一番高くなっている。つまり津雲台小学校付近に降った雨が、高川の源流であらう。

## 山田川

山田伊射奈岐神社の下を流れる川は「山田川」(写真⑩)である。この川は糸田

川よりも広く、深い。川をさかのぼる。中央環状線を越えると、千里ニュータウンだ。川は北消防署付近で道路を暗渠で横断する。ここから上流、山田川は「藤白台水路」と名前を変えて、北へと進む。国立循環器病センターが見えてくる。山田川の源流は千里北公園の中にある「蓮間池(はずまいけ)」だった。国立循環

吹田の川でも神戸のようなことが起こりえるのですか？

「川の特徴」によりますね。神戸の場合は「分流」といって、家庭から出る汚水と、雨水を分けて流して

の様相を呈していた。しかし地球温暖化の影響が、昨今の雨の降り方は異常だ。先日も神戸で水遊びをしていた。つまり上流で降った雨は、下水ではなく、雨水管を通して川に流れ込むんです。加えて六甲山の山腹が開発されていますから、雨水がしみこむ場所がない。それで一気に川に流れ込んだのです。吹田の川も「分流」で上流が開発されていますから、危険ですよ。

神戸の場合は、川辺で遊べるように整備された「親水河川」でしたね。幸か不幸か、吹田の場合

は市民が川の中まで入って水遊びができるような川はありません。将来的には糸田川がそのような「親水河川」に整備されるかもしれませんが、そうならば、危険を知らせる看板だけではなく、プザーが鳴ったり赤ランプが回ったりするような警報機をつけたいとためです。いすれにしても「ゲリラ豪雨」はいつ発生してもおかしくないですから、何らかの理由で川に入るときは十分な警戒が必要です。



⑫豊津交番前の記念碑。昔の糸田川は暴れ川で、川の付け替え工事をしたことを記念している

# 吹田にも「暴れ川」の歴史があった